

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	姉妹都市少年スポーツ交流事業			会計	款	項目	大	小	
				01	10	05	09	02	04
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	恩田 一成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	姉妹都市少年スポーツ交流団体	意図	姉妹都市との青少年交流の充実。
事業内容	隔年で姉妹都市相互の試合会場で実施し、交歓を深めているスポーツ交流を通じ、両市のより緊密な交流関係を促進し、併せて参加した青少年の健全育成を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和59年度頃から、姉妹都市である福島県相馬市とのより緊密な交流の機運が高まってきた。昭和61・62年度は市主催事業として実施され、昭和63年度から両市の各団体ごとに実施することになり、この年から助成事業（補助金交付）としている。補助事業開始当初から現在まで、流山市少年野球連盟、流山市少年サッカー連盟、流山市剣道連盟の3団体を対象に補助金を交付している事業である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	青少年スポーツ交流事業	700	594	637	人	↑↑↑	実績値
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 野球、サッカー、剣道を通じての交流を実施している。隔年で姉妹都市相互の試合会場で実施しているおり、平成29年の交流人口は一昨年と比べ若干減少であった。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		675,900	655,950	651,360				
事業費(b)(円)		450,000	450,000	450,000				
うち一般財源		450,000	450,000	450,000				
職員給与費(c)(円)		225,900	205,950	201,360				
人役・職員(人)		0.03	0.03	0.03				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	能登町、信濃町とどのような交流が可能か検討を進める。	③取組の課題	相馬市との交流のほか、他の姉妹都市との交流が課題である。
②今年度(H29)に実施した取組	サッカーは7月に流山市に来ていただき、剣道は7月、野球は8月に相馬市を訪問し、交流を深めた。	④今後(H30以降)の改善計画	能登町、信濃町とどのような交流が可能か検討を進める。